

目標達成計画

作成日: 平成 26 年 3 月 28 日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。
 目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	1	「たのしい家七隈の誓い」施設独自理念を職員全員が日々の介護実践に活かしていくという理解、意識、実践力が不足している	職員全員が理念を理解・意識・実践へ繋げていく	・毎日夕方の申送り時に理念を復唱し、日々理解・意識を促し、各自が実践していく ・全員で理念に基づいた介護実践が行える様に、個々の不足部分をお互いが補い、且つ両者が成長できるように関わりをもつ	12ヶ月
2	8	権利擁護に関する制度の理解と活用を職員全員に周知徹底できていない	職員全員が権利擁護に関する理解ができる	・研修を受ける者が管理者のみにならない様に研修委員を作り、管理者と協力しながら円滑に学んだ事を伝達研修にて行える様にしていく ・伝達研修後、研修委員が研修記録を確実に管理、残していく	12ヶ月
3	14	人権教育・啓発活動に関する内容を職員全員に周知徹底できていない	職員全員が人権教育・啓発活動に関する理解ができる	・研修を受ける者が管理者のみにならない様に研修委員を作り、管理者と協力しながら円滑に学んだ事を伝達研修にて行える様にしていく ・伝達研修後、研修委員が研修記録を確実に管理、残していく	12ヶ月
4	35	重度化や終末期に向けた方針の共有と支援に関する内容を職員全員に周知徹底できていない	職員全員が重度化や終末期に向けた方針の共有と支援に関する理解ができる	・研修を受ける者が管理者のみにならない様に研修委員を作り、管理者と協力しながら円滑に学んだ事を伝達研修にて行える様にしていく ・伝達研修後、研修委員が研修記録を確実に管理、残していく	12ヶ月
5	37	災害対策として、地域の避難場所としての役割機能を果たす事が不十分である	安心安全に災害時に備えられる様に備蓄品の充実化を図っていく	・他グループホームの現状や対策を情報収集し把握していく ・本社とも相談しながら、備蓄品の充実化を図れる様にしていく	12ヶ月